

脳情報研究科脳情報専攻博士課程後期 教育課程表

	科 目 名	単位数	開講年度						脳型ロボティクス	神経計算論	情報創成学際	備考	
			平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度						
			春	秋	春	秋	春	秋					
専門科目	システム神経科学	2	○		○		○		※	※のうち、 2 科目 1 組必修選 択			
	システム神経科学技法	1		○		○		○					
	計算論的神経科学	2	○		○		○		※				
	コンピュータシミュレーション技法	1		○		○		○					
	脳画像解析学	2	○		○		○		※				
	ニューロイメージング技法	1		○		○		○					
	発達科学	2	○		○		○		※				
	発達科学技法	1		○		○		○					
	社会科学から見た脳科学	2	○		○		○		必				プログラ ム必修科 目
	コミュニケーションロボット工学	2		○		○		○	必				
	脳情報先端セミナー A（ロボット工学）	1	○	○	○	○	○	○	必				
	脳型学習システム	2	○		○		○				必		
	パラレル情報処理解析学	2		○		○		○			必		
	脳情報先端セミナー B（神経計算論）	1	○	○	○	○	○	○			必		
	認知科学	2	○		○		○					必	
	情報創成科学	2		○		○		○				必	
	脳情報先端セミナー C（情報創成）	1	○	○	○	○	○	○				必	
関連科目	心理物理学	2	○		○		○					2 単位 以 上選択	
	神経経済学	2	○		○		○						
	社会システム制御論	2	○		○		○						
	神経感性工学	2		○		○		○					
	神経倫理学	2		○		○		○					
	病態神経科学	2		○		○		○					
	分子生命工学	2		○		○		○					
研究法	脳情報研究法Ⅰ（研究サーベイ）	2	○							必			
	脳情報研究法Ⅱ（研究計画）	2		○						必			
	脳情報研究法Ⅲ（データ解析）	2			○					必			
	脳情報研究法Ⅳ（論文作成）	2				○				必			
	脳情報研究セミナー	2					○			必			

○は開講期

※平成25年度以降の開講期については変更になる場合があります。各研究科の授業時間割に従って履修してください。

〈修了要件および履修方法〉

- (1) 研究法より10単位を修得すること。
- (2) 研究指導担当教員の指導により、専門科目から8単位以上、関連科目から2単位以上を修得すること。
- (3) 前項(1)(2)の要件をみたし、合計20単位を修得し、かつ博士論文を提出し審査および最終試験に合格すること。

脳型ロボティクスプログラムおよび神経計算論プログラムの修了生には「博士(工学)」、情報創成学際プログラムの修了生には「博士(学術)」の学位が授与されます。

I

学修にあたって

II

教育課程表および
講義内容 脳情報研究科

III

学則・規程

脳情報研究科脳情報専攻博士課程後期の概要イメージ図

